



2024年6月4日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 中長期ビジネス成長戦略「Beyond the Border」の策定

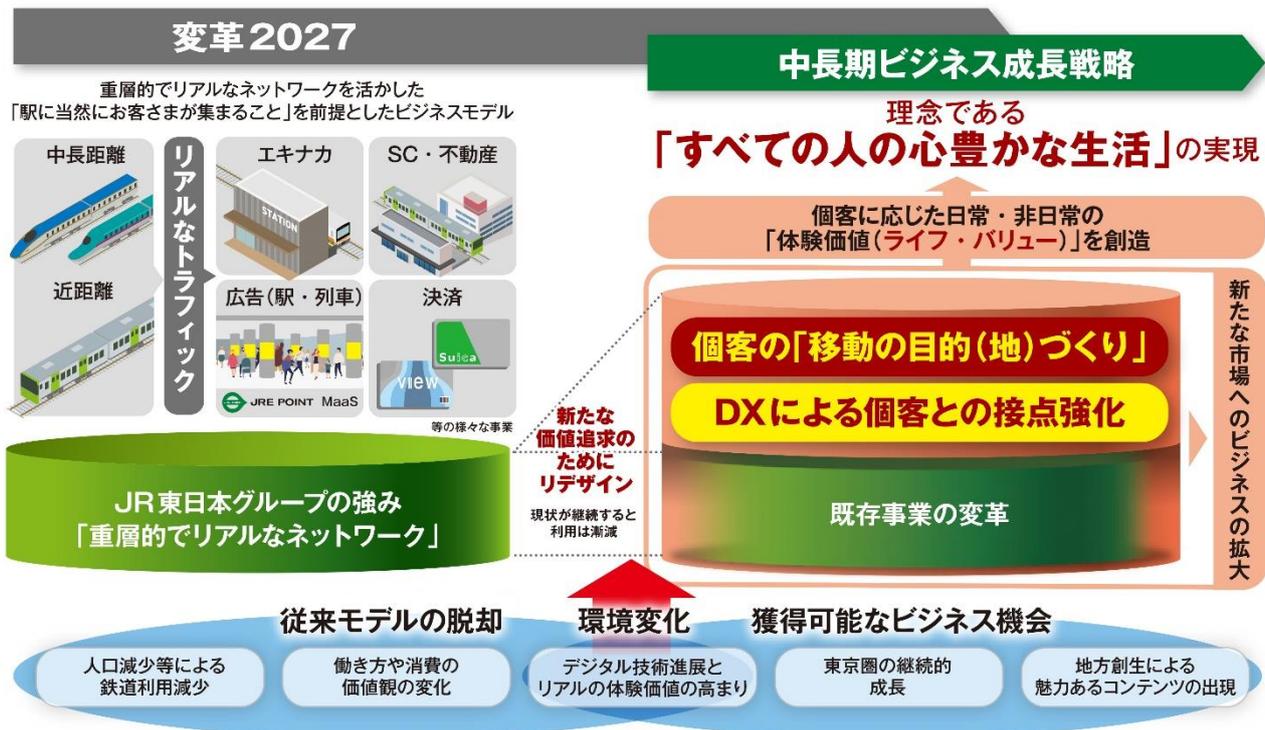
～ Suica を進化させ、Suica アプリ（仮称）の創出による Suica 経済圏の拡大～

- JR 東日本グループを取り巻くマーケットは人口減少や少子高齢化が進むなど、今後これまで以上に構造的・質的に大きく変化していきます。
- このようなマーケットの変化において、JR 東日本グループが目指す「モビリティ」と「生活ソリューション」の2軸による持続的成長をさらに加速させるため、これまでの生活サービス事業成長ビジョン「NEXT10」に代わる新たな中長期ビジネス成長戦略「Beyond the Border」を策定しました。
- この成長戦略の基盤は、「Suica の進化」による新たな「デジタルプラットフォーム」の構築です。Suica を「移動のデバイス」から、お客さまのさまざまな生活シーンにつながる「生活のデバイス」に進化させる「Suica アプリ（仮称）」を創出し、Suica 経済圏を拡大していきます。
- 本戦略を推進することで、10 年後（2033 年度）における「生活ソリューション」の営業収益・営業利益を倍増させます。

### 1 中長期ビジネス成長戦略「Beyond the Border」について

- ・これまで強みとしてきた JR 東日本グループのモビリティと生活ソリューションの双方にわたる「重層的でリアルなネットワーク」を Suica の進化による「移動の目的（地）づくり」と「DX による個客との接点強化」を通じて新たな強みにリデザインしていきます。
- ・これにより、現在の JR 東日本グループの枠を大きく乗り越え（Beyond the Border）、ビジネス圏を飛躍的に拡大していきます。

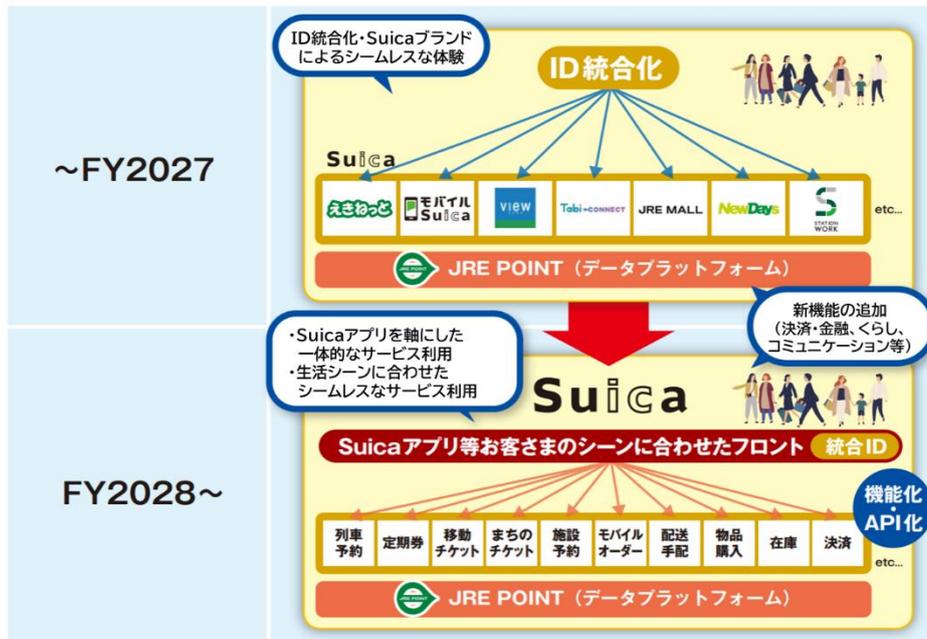
#### <Beyond the Border のコンセプト>



## 2 お客様のさまざまな生活シーンにつながる Suica アプリ（仮称）の創出

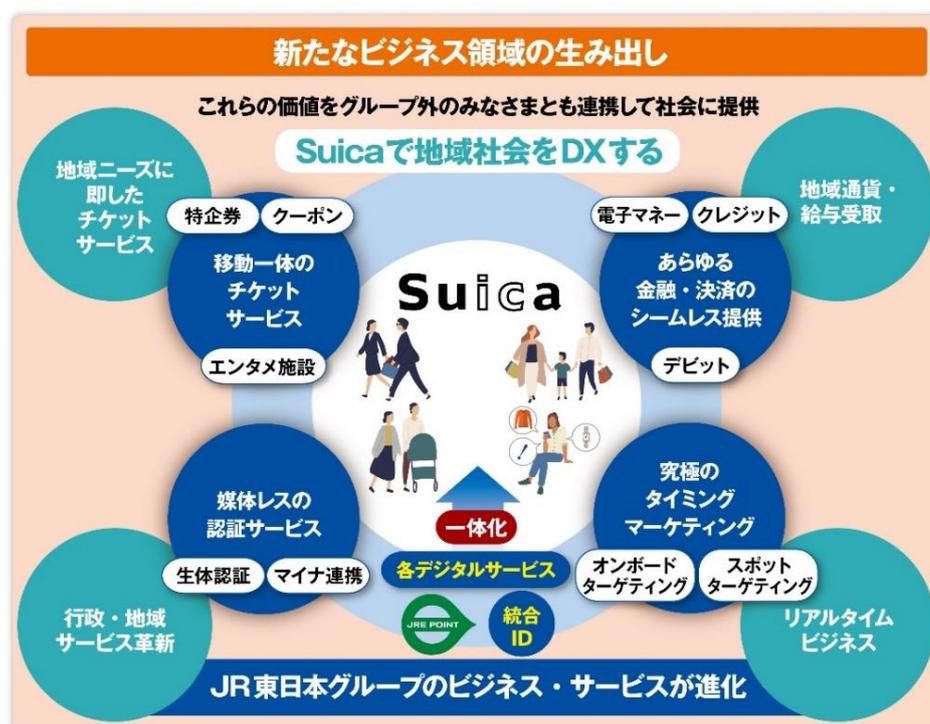
### (1) 「Suica の進化」

- ・「Beyond the Border」の基盤は、「Suica の進化」による、新たな「デジタルプラットフォーム」の構築です。
- ・「Suica の進化」とは、Suica が「移動のデバイス」から飛躍的に利便性を高めた「生活のデバイス」になることです。今後のステップとしては、2027 年度までにえきねっとやモバイル Suica などの各種 ID 統合でシームレスなご利用を可能とするとともに、クラウド化による新しい鉄道チケットシステム開始で、例えば、駅ビルで一定額のお買い物をされたお客さまに帰りの運賃割引のご提供を可能にします。さらに、Suica アプリ（仮称）を 2028 年度にリリースすることでお客さまのご利用シーンにあわせたサービスを一括してご利用できるようにします。



- ・あわせて、新機能<sup>※</sup>を今後 10 年の間に順次追加し、進化した Suica で、あらゆる生活をカバーすることを目指します。

※新機能とは、移動と一体のチケットサービス、金融・決済、生体認証、マイナンバーカード連携、タイミン  
グマーケティング、健康、学び、物流、行政・地域サービスとの連携などを予定しています。



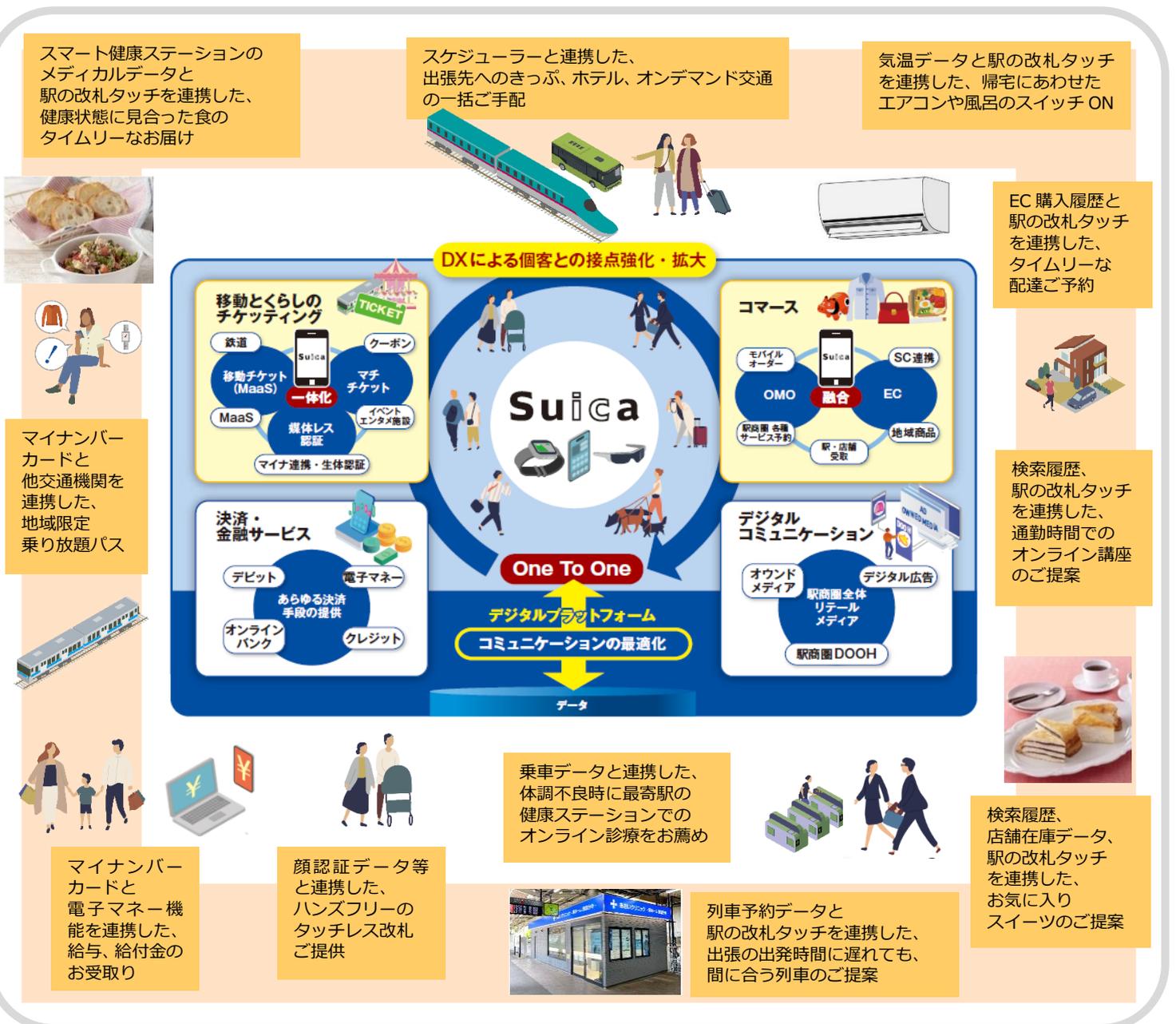
## (2) データマーケティングによるビジネス圏の拡大

- ・進化した Suica に集まるビッグデータを最大限活用し、JR 東日本の強みであるモビリティの移動データをさまざまなリアル・デジタルのサービスと結び付け、例えば、お客さまの趣味嗜好や健康状態に沿ったサービスや情報を適切なタイミングでお届けする One to One のデジタルコミュニケーションを行うことで、マーケットインのビジネスを進めていきます。
- ・あわせて、マーケットから得られるデータやニーズを進化した Suica にフィードバックすることで、さらなる進化を目指し、次のマーケットインのビジネスに循環しながら活かします。
- ・さらに、東京圏で成功したマーケットインのビジネスを海外展開し、実績を積み重ねることでアジア圏での TOD<sup>※</sup>への参画を目指します。※Transit Oriented Development、公共交通指向型開発

## (3) これから実現していくライフ・バリュー

- ・「Suica の進化」とデータマーケティングによって構築するデジタルプラットフォームにより、リアル・デジタルのサービスをつなげ、お客さまに新たなライフ・バリューをご提供します。

### 【「デジタルプラットフォーム」で変わるお客さまのさまざまなリアル・デジタルなサービス体験】



### 3.数値目標

- 今後 10 年で現在の JRE POINT 生活圏を飛躍的に拡大したリアル・デジタル双方にまたがる「Suica 経済圏」を創出し、10 年後（2033 年度）における生活ソリューションの営業収益・営業利益を 2023 年度比 2 倍にすることを目指します。

